

2025 SUPER GT RACE REPORT



SUPER GT 第4戦 富士スピードウェイ

8月2日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2025年度のSUPER GT第4戦が8月2日・3日に静岡県・富士スピードウェイで開催されている。今大会はSUPER GT史上、公式戦では初めてスプリント形式のレースフォーマットが採用され、8月2日には35週のレースが、3日にはGT500クラス、GT300クラスを別々にした専有での50分レースが行われる。2人のドライバーは、土曜日のレース1、日曜日のレース2どちらかに出走し、朝の公式練習から、公式予選、決勝レースまでを1人で戦うことになる。TRS IMPUL with SDGのレース1はベルトラン・バゲット選手が出走。気温30度、路面温度35度で始まった公式練習では21周を走破。残り時間10分のGT500クラスの専有時間で、バゲット選手はそれまでの自己ベストタイムを約0.4秒縮め1分28秒996を記録した。このセッションは僅差の中にGT500クラス15台がひしめき合う状況で、リザルトは14番手となった。

公式予選は午後0時10分からの10分間。半分以上の台数がセッション開始早々にピットを離れていき、バゲット選手も8番目にコースイン。前後の車両との間隔をうまくとり、計測4周目のアタックで1分28秒950をマークした。これで暫定2番手となったバゲット選手だったが、その後6台がこのタイムを上回り、最終予選順位は8位だった。

決勝レースは午後3時15分にスタート。ピットウォークが終わるところから徐々に雲が広がってきたが、気温34度、路面温度は57度と、予選時よりも厳しい暑さの中でのスタートとなった。バゲット選手は、オープニングラップの混戦をうまくかいくぐり、2ポジションアップに成功。後方でコースアウトした車両があったためすぐにセーフティカー(SC)が導入され、6周目にリスタートが切られると、スタート直後にベースが上がらなかった1台をとらえて5番手に浮上。6周目からは膠着状態に。バゲット選手はなんとか上位陣に食らいついていこうとしたが、上位4台からは少しずつ差を広げられていく。13周目に入った1コーナーで、後続の1台にイン側から並びかけられたバゲット選手はアウト側をキープしながらサイド・バイ・サイドのバトルを展開したが、コカ・コーラコーナーで先行を許し6番手に後退。レース中盤以降はNissan Z NISMO GT500同士の戦いで、バゲット選手は1秒を切るギャップの中で終始追いかけていたが、最後まで力強い走りを披露し、6位でチェッカーを受けた。



【コメント】

■ TRS IMPUL with SDG ベルトラン・バゲット選手

走り出しから少し不調を抱えていたのですが、予選に向けて少しずつ改善はしていけたと思います。まだ完璧な状態に戻ってはおらず、そこが戻ればラップタイムでも0.4～0.5秒ほど縮められるかもしれないので、決して小さくはない差ですが、それを除けば、選んだタイヤも非常に良いパフォーマンスを発揮してくれましたし、調子自体は悪くなかったと思っています。ただ、実際には非常に難しいレースになりました。オープニングラップは良かったのですが、その後はクルマのバランスにはあまり満足できず、苦しかったです。それでも、ライバル勢が非常に速かったので今回のレースではP6が限界だったかもしれないことを考えると、そのポジションを得られたことは良かったと思います。もちろん、明日のレースに向けてはさらに改善していかなければいけません。一貫にもっといいクルマを用意できるよう、より良いセットアップを見つける必要があります。

■ TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

走り出しからマシンに少し問題を抱えており、そのトラブルシューティングをしながらのプラクティスになりました。なんとか予選に向けてチームも頑張ってくれましたし、一番いい状態とは言えない中でバゲット選手も8番手というスタート位置を獲得してくれたのは良かったです。決勝では、バゲット選手の得意な部分が発揮されて、オープニングラップでポジションを上げてくれました。そのあとは本当に苦しかったですね。今日のレースはトヨタ勢に食らいついていくのがやっとという状況でしたが、自分たちができる最大限は出せました。それが6位というのは悔しいですが、日産勢としてもみんなで力を合わせて、ここから上がっていかなければ。まずは明日のレース2までにできることをしっかり考えて、やっていきたいと思っています。うちのドライバーは2人とも本当にレースに強いので、明日の平峰選手にも期待しています。

2025 SUPER GT

第4戦 富士スピードウェイ 8月2日 Photo Gallery





第4戦 富士スピードウェイ 8月2日 決勝レース1 結果

SUPER GT Race1 GT500

2025/8/2 17:40

FUJI SPEEDWAY

正式結果表

Weather :Cloudy/Rain

Fuji Speedway(4,563m)

Track :Dry

	Pos	No	Name	Car	Lap	Total Time	Ave. km/h	Diff.	Gap	Best Time	Lap
	1	1	S. Tsuboi	au TOM'S GR Supra	35	57'40.012	165.850			1'28.826	9
	2	38	T. Oyu	KeepPer CERUMO GR Supra	35	57'42.541	165.729	2.529	2.529	1'29.015	18
	3	37	U. Sasahara	Deloitte TOM'S GR Supra	35	58'03.465	164.734	23.453	20.924	1'29.618	19
	4	19	S. Sakaguchi	WedsSport ADVAN GR Supra	35	58'07.476	164.544	27.464	4.011	1'29.331	11
*1	5	39	S. Fenestraz	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	35	58'07.998	(58'02.998+5sec)	27.986	0.522	1'29.629	10
	6	12	B. Baguette	TRS IMPUL with SDG Z	35	58'09.221	164.462	29.209	1.223	1'29.835	11
	7	100	T. Makino	STANLEY CIVIC TYPE R-GT	35	58'12.734	164.296	32.722	3.513	1'29.711	10
*2	8	3	D. Sasaki	Niterra MOTUL Z	35	58'15.887	(58'10.887+5sec)	35.875	3.153	1'29.622	11
	9	17	S. Koide	Astemo CIVIC TYPE R-GT	35	58'17.641	164.066	37.629	1.754	1'29.865	32
	10	8	T. Nojiri	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8	35	58'23.406	163.796	43.394	5.765	1'29.982	31
	11	23	M. Takaboshi	MOTUL AUTTECH Z	35	58'27.501	163.605	47.489	4.095	1'30.108	11
	12	24	T. Matsuda	REALIZE CORPORATION ADVAN Z	35	58'33.440	163.328	53.428	5.939	1'29.932	10
	13	16	H. Otsu	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #16	35	58'34.897	163.260	54.885	1.457	1'30.002	10
	14	64	T. Izawa	Modulo CIVIC TYPE R-GT	35	58'35.695	163.223	55.683	0.798	1'30.475	13
***** 以上完走 (規定周回数 GT500 : 24Laps) *****											
	14		K. Oshima	ENEOS X PRIME GR Supra							

Fastest Lap

1'28.826 (9 / 35)	184.932 km/h	1	S. Tsuboi / au TOM'S GR Supra			
Start Time :15:22'09	Finish Time :16:19'49.012			Entry :15	Start :15	Finish :14

SC導入時刻 15:23'20(0Lap)~15:34'59(5Lap)

Black and White flag

Car.No.19 (L項4-2.b)「進路變更複數回」(15:37)

Car.No.24 (L項4-2.c)d)「走路外走行複數回」(16:43)

*1 CarNo.39は、タイムペナルティ5秒(SpR.18-1.「走路外追い越し」)(16:05)

*2 CarNo.3は、タイムペナルティ5秒(SpR.13-1.b「他車を押し出し」)(16:05)